

大河ドラマに抜擢して欲しい人物第1位となった四国の覇者『長宗我部元親』です。長宗我部氏の人気がある理由として、元々中国の秦の始皇帝を祖先にもつ渡来人として本人が名乗っており、抜群の軍略とカリスマ性で、時の天下人と堂々と渡り合っており、豊臣配下となった後も活躍しますが、関ヶ原や大阪の合戦では悲劇的な最後を遂げています。そういう悲劇のヒーローという事もあり、最近NHK大河ドラマで放映されましたもう1人の高知の殿様『山内一豊』が四国外から幕府の任命を受けた入植者のため人気が無い事と比較しても、この、長宗我部家の人気は四国で高

く、居城であった岡豊城や銅像が祭られている若宮八幡宮へも沢山の観光客がお見えになっています。又、そこでは非常に美味しい郷土料理も堪能できます。

2010年は是非、坂本龍馬や長宗我部元親、山内一豊など、四国が生んだ歴史ヒーローの生誕地を訪ねられ、歴史探求と共に四国の美味しい自然料理を満喫しにお越し下さい。

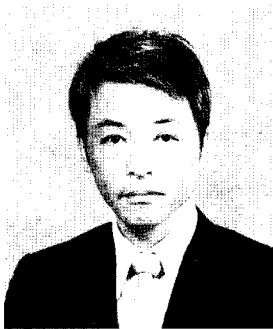
(高知丸高 高野一郎)



## — 私の履歴書 —

丸井重機建設株式会社  
代表取締役社長

丸井 哲人



丸井 哲人(まるいあきひと)  
昭和42年11月21日 青森県生まれ  
平成6年 丸井重機建設入社  
平成13年 常務取締役役に就任  
平成19年 専務取締役役に就任  
平成21年 代表取締役社長に就任

### ■郷里・幼年時代・学生時代

青森県には、新渡戸稲造の祖父であり、東北の開拓史上の偉人でもある新渡戸伝翁が開拓した三本木原台地がありますが、その中核都市である十和田市で建設業を営む家の長男として生まれました。

高校時代までは郷里で、多くの友人に恵まれ、この友人達と共に学校生活でも私生活でも活動的で充実した毎日を過していました。

上京し、大学に進学してからは、テニスや色々なサークル活動などで、様々な人達と出会い、様々な経験をさせていただきました。なかでも、バブル景気の栄枯盛衰を垣間見ることができたことは、今思い起こしても、大変貴重な経験だったと思います。

機鋼管チルトパイラーWP-150P導入・ISO9000及びISO14000認証取得・地中埋設物撤去工法(ヒロワーク)導入・岩盤掘削機ドーナツオーガSDA-390HWP導入等新たな新工法に挑戦。

### ■経営

当社は3部門で構成。「建築部門」は建築物の企画、設計、施工。公共建築・一般住宅・ホテル・マンション・事務所等。「土木部門」は土木工事の設計、施工。河川・海岸・道路・舗装・砂防・橋梁・下水道等。「基礎工事部門」は基礎工事の設計、施工。既製杭・場所打ち杭・岩盤削孔・地中障害物撤去・既存杭引抜・深層混合地盤改良・地中連続壁・土留杭等。

経営理念：「わが社は和を基本理念とし信用と技術を提供する」。

社は：「勇気・決断・実行」。

重大基本方針：「無事故・無災害完工。コストダウンの徹底。全社一丸」。

平成21年度スローガン：「企業継続の為の受注量の確保。将来の飛躍の為の技術・人材・資本の蓄積。業績維持向上の為の徹底的コストダウン」。

### ■社員とのコミュニケーション

「働きやすい職場環境の提供」と「やりがいのある仕事の提供」を心がけております。基本的には自由と責任を持たせた営業活動、現場管理をさせ、細かい注意指導は極力せず、仕事以外の話題を多くするようにしております。

### ■信条・趣味

心の支えとしている言葉は、坂本竜馬の「世の人は我を何とも言はば言へ、我が為す事は我のみぞ知る」。

趣味：少し古めの車を購入し、ドライブする事。私は免許を取って以来、購入した車は8台あるが全て古めの車を購入してきました。現在、所有している車も自分より1つ年上の43年前のスカイラインです。また、古いプラモデルも好きでオークション等で買い過ぎて部屋が埋まっている状態です。

### ■今後の展望

今回の政権交代で日本の建設業は本格的な生存競争が始まります。

そうした中でも無事故・無災害や高品質・ローコストの提供は目標次元的な物ではなく、当然の義務であり、社会全体にどれだけ貢献できるかが企業に問われる価値になっていくと思います。そうした、新しい時代にあるべき建設業者の姿を社員と共に模索し、研鑽して行きたいと思っております。

(丸井重機建設(株)丸井 哲人)

### ■社会にでて

平成6年にUターンと同時に丸井重機建設(株)に入社、入社後は各支店、営業所で現場代理人及び営業を担当していました。平成13年に本社勤務となり、現在に至っております。仕事においては、各官公庁、ゼネコン、地元建設業者、商社他多くのすばらしい顧客に恵まれ、過分の期待と支援いただいていると、常々実感しており、感謝しきれません。

### ■会社の歴史

誕生：昭和24年丸井組として土木工事請負業、砂利採取業を丸井寅次郎代表からの出発。

昭和27年丸井建設株式会社に改組。

転換：昭和48年丸井重機株式会社と合併し丸井重機建設株式会社に社名変更、重機建設専門会社として出発。

発展：昭和53年～平成11年大型パイルドライバーD508-95M(当時国内最大機種)導入・岩盤掘削、ロックオーガ工法導入・拡底工法機ED5500導入・大口径岩盤掘削機CD2000導入・超大型パイルドライバーDH808-170M(同内最大級)導入・岩盤掘削機ドーナツオーガSDA-300HWP導入・大口径岩盤掘削機CD1500導入等、技術を極めて新工種に挑戦。

結実：平成11年度、青森県「建設業」完成工事高第1位に躍進。引き続き平成13・14・15・16・17・19・20年度も青森県「建設業」完成工事高第1位で堅実な企業に。21年度も第1位に躍進を目指す。

進化：平成14～平成19年鋼矢板・鋼管矢板圧入引抜